

令和元（2019）年度 第1回柏崎市立図書館協議会 議事録

日 時 令和元（2019）年5月30日（木） 午前10時00分～午前12時00分

会 場 柏崎市立図書館 2階 第1会議室

出席委員 飯塚会長、三井田副会長、本間委員、内山委員、菅家委員、若井委員、大倉委員、小柳委員
(8人)

欠席委員 なし

事務局 鈴木館長、飯田館長代理、小林係長、大木係長、田村主任

1 開会あいさつ(会長)

会 長 只今から、令和元（2019）年度第1回図書館協議会を開催します。全員の参加ありがとうございます。平成から令和に代わり、我々も気持ちを新たに取組んで参りたいと思います。

2 報告事項

(1) 平成31年（2019年）4月1日付図書館人事異動及び今年度の職務分担について（資料No.2）

会 長 報告事項の前に館長から御挨拶をお願いします。

館 長 長い図書館の歴史の中で、常に皆様方から図書館運営について貴重な御意見を賜り、支えていただいて参りました。今後も時代に合った図書館運営ができますよう、市の附属機関である図書館協議会の委員の皆様から御意見を賜りたいと思います。また今年度は、来年度から始まる第二次の子ども読書活動推進計画の策定について主に御意見をいただくようになります。よろしく願いいたします。

では、今年度の職員配置について御説明いたします。（資料No.2 について説明）

会 長 ただいまの説明について質問はありますか。 ——なし

(2) 平成30年度（2018年度）事業報告について（資料No.3）

会 長 事務局から説明をお願いします。

事務局 前回の図書館協議会で3月10日までの報告をさせていただいておりますので、それ以降の主なものについて御説明いたします。（資料No.3 について説明）

会 長 多岐にわたる活動をしていただきありがとうございます。質問や意見などございますか。昨年と比べると、読み聞かせの出前サービスの実施がとて増えていますね。

委 員 読み聞かせ出前サービスは、学校や園から申し込みがあって出かけるのですか。

事務局 はい。また、そこには学校読書支援員に対して学校から依頼があったという意味で、学校読書支援員の活動回数も含まれています。

委 員 学校読書支援員以外の、ソフィアセンターに依頼があって実施した部分も増えているのでしょうか。

事務局 学校読書支援員だけでは対応できない部分のフォローで行くこともありますし、直接依頼があることもありますので、その年によって回数は変わってきます。

委 員 読み聞かせは、お年寄りの集会に出前を依頼することも可能ですか。

事務局 可能です。文化・生涯学習課を經由して、ふれあい講座として高齢者の団体から依頼があったこともあります。

委 員 学校読書支援員について、ぜひ来年度増員の要求をお願いしたいと思いますし、できれば中学校にも配置できるよう進めていただければと思います。

- 委員 保育園でも保育士が読み聞かせを行います。ボランティアの方の読み聞かせは演出の仕方が違って子どもたちがとても興味を持って聞いているので、毎年お願いしています。
- 委員 読み聞かせボランティアが活動している学校からも読み聞かせ出前サービスの依頼はありますか。読み聞かせの内容についての要望もありますか。
- 事務局 依頼があればどこでも行きます。要望があればそれに合わせた内容にしますし、なければ季節や年齢に合ったものを用意しています。
- 委員 学校からの依頼で行う読み聞かせは、授業時間に行うのですか。
- 事務局 授業時間に行うことが多いです。一限全部の時もありますし、一部の時もあります。職員が足りないときは、登録ボランティアの方にお願いすることもあります。
- 委員 地元ボランティアが学校で読み聞かせを行う回数を含めたら、もっと増えますね。
- 委員 来年から学習指導要領が変わることもあり、授業内容に関係した読み聞かせの要望や問い合わせが増えることが予想されます。
- 事務局 学校読書支援員は、学校の図書担当の先生の支援をする立場で図書室の環境整備を中心に活動を行っていますが、読み聞かせなど対応可能な部分では、学校と連携しながら取り組んでいきたいと思えます。
- 委員 秋にソフィアセンターで学校の図書担当と図書館職員と一緒に研修を行います。委員の皆様もぜひ参加してください。事務局から案内を配布していただければと思います。

(3) 平成 30 年度 (2018 年度) 利用者統計 (資料No.4)

- 会長 事務局から説明をお願いします。
- 事務局 (資料No.4 について説明) 入館者数については 347,455 人で、平成 29 年度とほぼ同じような状況です。入館者数が全てではありませんが、人口が減っている中で前年並みというところで良かったと思います。レファレンス件数、予約数なども前年度並みでした。
- 会長 御意見や御質問等ありましたらお願いします。 ——なし

3 協議事項

(1) 令和元 2019 年度) 図書館事業計画について (資料No.5)

- 会長 事務局から説明をお願いします。
- 事務局 (資料No.5 について説明)
- 運営基本方針は、前年度から変更ありません。主な事業としては、子どもの読書活動支援を学校や教育委員会と継続的に連携しながら行います。未就学児の読書活動の推進として、子どもたちの健全な育成のため、早い時期から読書につながるようブックスタート事業を継続します。他にも絵本の読み聞かせなど、お母さんと子どものふれあいの機会となるような活動を行っていきます。ボランティアの方に向けた講座や支援も行います。また今年度は、第二次推進計画の策定にあたり、市役所内部の関係部署で子ども読書プラン推進会議を開催します。図書館協議会の開催についても、3 回目の開催が例年より早い時期になる予定です。
- 会長 御意見や御質問はありますか。
- 委員 重点事項に、ブックスタート事業の充実を図るとありますが、配付する時期を増やすなど拡大する予定がありますか。
- 事務局 回数を増やす等の予定はないのですが、絵本のリストをお渡しするなどして少しずつ良い事業にしていきたいと考えています。
- 委員 主な事業に書いてある乳児用と幼児用の 2 種類のリストですね。

事務局 ファーストブック、セカンドブックという2種類の絵本リストの配付範囲をブックスタート対象者にも広げました。次の年代でもブックスタートと同じように本を配付することが簡単に決められませんので、その前段階の本を手渡すお手伝いという意味でリストを配付します。

委員 ブックスタートのアンケートでは97%の方が大変良かったという結果だったようですが、これからも継続していくには、保護者に子どもたちのスタートに絵本を与えるんだという意識を持ってもらえるような、絵本は楽しいと思えるような取り組みをしていく必要があると思います。配付時には読み聞かせをすると伺っていましたが、ただ配付するだけではまたいずれ事業が廃止になることもあり得るので、事業の充実に具体的に取り組んでいただきたいし、我々も取り組みについて拝見していきたいです。

委員 私は一度ブックスタートに参加したことがあります。ただ絵本を渡すだけではなく読み聞かせもしていましたし、ベテランのボランティアさんと保護者と赤ちゃんとなかなかいい雰囲気の中で行われていると思いました。

会長 ほかに御意見はありますか。

委員 第二次の計画策定にあたり、市役所内の関係課で行うかしわざき子ども読書プラン推進会議を開催とありますが、学校の図書室担当の先生や学校で読み聞かせを行うボランティアなどの意見は、どの時点で反映されるのでしょうか。いろいろな立場からの意見が反映された方がより良いプランになるのではないかと思います。

事務局 かしわざき子ども読書プラン推進会議の中には学校教育課、教育センターも入っていて、本来学校の先生である方が市職員としていらっしゃいますので、そういった方から情報を得ながら進めたいと思っております。ボランティアの声ということでは、普段から図書館職員もボランティアの方と接しておりますので、そういった中での意見も反映したいと思いますし、この協議会の中でもそういった御意見を頂戴したいと思います。

委員 プランが大体できあがって最後に皆さんの御意見を伺いますということではなく、素案の段階で大勢の皆さんがその素案を見ることができて、皆さんからの意見が反映できると良いと思います。また、わかりやすい図のようなものも取り入れると良いかと思います。

会長 課題解決支援事業の実施の中に危機管理というのがありますが、特殊詐欺防止についての資料などもありますか。

事務局 我々が想定していた危機管理は地震等に対するものでしたが、特殊詐欺防止等に関する資料も積極的にそろえていきたいと思っております。

委員 学校図書館は、学校読書支援員の支援もあり入りやすい環境に変わりました。これからは、そこで学習をする学習センター、さらには情報を収集する情報センターとしての機能も充実させていけると良いなと思います。

(2) 子どもの読書活動推進計画進捗状況について

①平成30年度(2018年度)子ども読書活動報告・決算(資料No.6)

会長 事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料No.6について説明)

会長 御意見や御質問はありますか。 ——なし

②令和元年度(2019年度)子ども読書活動計画・予算(資料No.7)

会長 事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料No.7について説明)

会長 御意見や御質問はありますか。

委員 学校読書支援員は、昨年4名になったんですね。

事務局 はい。資料には4名に増員となっていますが、昨年に引き続き4名で活動してまいります。資料の訂正をお願いします。大変失礼いたしました。

委員 ぜひ中学校へも支援員さんが配置できるよう要望していただければと思います。

事務局 中学校の図書室の現状から見ると、支援員ではなく学校司書が足りないのではと考えています。

事務局 学校教育の中での図書室ということになりますので、いまは課題が見えてきたところで、今後の体制づくり等も含めて検討が必要になると考えております。

委員 中学校の図書委員を集めて情報交換ができるような場があるといいのかなと思います。

(3) 第二次柏崎市子ども読書活動推進計画の策定について
読書に関するアンケート調査結果について (資料No.8)

会長 事務局から説明をお願いします。

事務局 今回のアンケートは3,946人を対象に行い、3,606人から回答いただきました。
(資料No.8について説明)

小学2年生の本を読むのが好きな理由では、「おもしろいから」「知らなかったことがわかるようになるから」という回答が多かったですが、5年生では「おもしろいから」という回答が多く、「知らなかったことがわかるようになるから」という知識の部分が少なくなっていました。中学2年生の本を読むのが嫌いな理由としては、「テレビやゲームで遊ぶ方が楽しいから」という回答が最も多く、小学生の回答の割合より増えています。ただ、「習い事やスポーツをする方が楽しいから」という回答も同じ程度の割合でありますので、テレビやゲームだけが嫌いになる理由ではないのかなということが見えてきます。読む本をどうやって決めるかという質問では、小学生では「図書館で見て」という回答が最も多く、「本屋で見て」という回答も同程度の割合でしたが、中学生では「本屋で見て」という回答が突出しており「図書館で見て」という回答がかなり少なくなります。そこに小学生と中学生の差が表れているのかなと思います。

全体を見ると、本を読むのが好き、どちらかというところと好きという回答の割合が、小学生88%、中学生82%とかなり多いと思います。一方で学校図書室の本を読まない、あまり読まないという回答割合は、小学生21%、中学生69.3%で、身近なところで本をどう捉えるかということが課題になると思っております。

事務局 このアンケート結果からいくつか課題も見えてきましたし、私どもで考えていたものと違う傾向もありますので、第二次の計画にうまく組み入れて、第一次計画を柱として策定したいと思います。

委員 質問があります。第一点、ソフィアセンターには、絵本の蔵書は大体何点ありますか。第二点、小学校2年生と5年生の回答を一つにまとめずに、分けて集計した方が良いと考えますがいかがでしょうか。第三点、中学生の保護者にはアンケートを行わなかったのはなぜでしょうか。また、計画策定にあたっては役所側で決めるのではなく、関係者からの意見も取り入れて策定してほしいと思います。

事務局 絵本の冊数は、およそ2万冊程度であると思います。

2年生と5年生の回答は、前回のアンケートでも合算して結果を出しているのですが、それに合わせたのですが、それぞれで集計した資料もありますので、後ほど用意します。

中学生の保護者については、前回のアンケートとの比較のために同じ対象者にしていることと、中学生になると自分で本を選んで自分で読書に取り組む傾向になるかと思っておりますので、アンケートを行いませんでした。

計画策定にあたっては、ボランティアの方からも意見を伺いたいと思っています。この協議会での意見も頂戴したいと思いますので、近々御意見を伺うための文書をお送りします。よろしくお願いいたします。

委員 アンケート回答の中に「読みたい本がない」という回答が結構ありますが、その後のどのような本が読みたいかと迫及する質問も必要ではないかと思えます。

委員 策定された計画は、どこまで周知されるものですか。読書をするのは個人になるので、読書環境を整えるための取り組みをまとめたものが計画となりますので、学校やコミュニティセンター等には周知しますし、インターネットでも見られるようになります。

会長 では、計画策定のスケジュールについて説明をお願いします。

事務局 後日、皆様からの御意見を文書で頂戴したいと考えております。6月には計画素案の作成を開始します。また、前回と同様に施設への活動アンケートを依頼し、7月に集計します。8月には第2回かしわざき読書プラン推進会議を開催し、計画素案の確認をする予定です。10月下旬に第2回図書館協議会を開催し、皆様方の意見を取り入れた計画素案を提示いたします。そこでさらに御意見をいただいた後、教育委員会に素案を提示、討議を行い、11月にはパブリックコメントを募集し、広く大勢の方から意見をいただきます。来年1月には第3回図書館協議会にて皆様方から御意見をいただき、パブリックコメント後の計画案の再検討を行います。最終的な計画案を2月下旬の定例教育委員会にて審議、決定し、それ以降実施となります。今までできていなかったことや、もっと進めなければいけないこと、課題等を盛り込んで次の5年間の取り組みとしたいと思えますので、皆様からの御意見をよろしくお願いいたします。

会長 質問や意見がありましたらお願いします。

委員 最初に第1回かしわざき読書プラン推進会議が開催されていますが、これは役所の関係課のみの会議ですよね。

事務局 第1回推進会議では、昨年度の取組み実績の報告や、今後のスケジュール確認等を行ったもので、まだ素案の検討には入っておりません。役所で行う取り組みについては、この推進会議で協議していくことになります。

委員 本当は素案の素案を見たいです。

事務局 素案の素案というと、第一次の計画になると思えます。一次の計画は5年前のものになりますので変えた方がよい部分などをお聞かせいただきたいと思います。

4 その他

会長 4その他について御意見ありましたらお願いします。

委員 理想としては、課題解決型の図書館になるといいと思えます。それから、古文書を皆さんに見てもらえるようになるといいと思えます。

会長 今回は、図書館への御意見、御要望はなかったということです。また、えんま市等の駐車場対策もお願いします。

事務局 張り紙の準備や関係各所への周知を行っております。

会長 最後に副会長から閉会のあいさつをお願いします。

副会長 アンケートの結果を見ると当市の子どもたちの状況はそんなに悪くないですが、新聞を読まないという結果がありました。子どもたちの言葉の力が少しでもつくような、また、学校の教育活動の改善に少しでも役立つようなプランを策定できたらいいなと思えます。変わっていく時代に合ったプランにしていけたらいいなと思えます。みなさんでまた協議しながら良いものにしたいと思えます。今日はありがとうございました。